

「路上生活者」への寝袋の寄贈、カンパなど

ご支援、ご協力ありがとうございました。

前略 今冬の寝袋配布活動も、暖かくなってきた3月下旬で終わりました。

「寝袋は風が通らないし、軽くて温かく重宝です。ありがとう」と感謝されています。派遣切りと思われるホームレスの方にも何人か手渡し、事情を聞くことが出来ました。皆さま方の尊いお志を配る事ができましたこと、心よりお礼申し上げます。

私たち『ろくな者じゃの会』が、移動型野宿者(公園や河川敷などに定着せず、夜だけビルの軒下やアーケードでダンボール小屋を組み立て寝ているホームレス)に凍死防止用の寝袋を配り始めて、10年を迎えました。今シーズンは19回出動し、延べ178人で518個の寝袋を手渡しました。(前季より200個以上も多いのです)これまでの合計は5,358個(09.3.25現在)になりました。あらためて深謝いたします。

アメリカ発の世界的な経済不況の影響下、急速にホームレスの人が増えてしまいました。昨年秋以降、大資本の身勝手な労働者の首切りは、私たちの生活をも破壊するものです。製造業大企業の内部留保金だけでも120兆円もあり、十分に体力があります。企業として社会的責任は免れません。

規制緩和の名の元「官から民へ」。アメリカの収奪システムに組み込まれ、内政干渉を唯々諾々と認め国益を売り渡した結果、国民生活に重大な困難をもたらしました。小泉純一郎氏、竹中平蔵氏や烏合した政治家は、恥を知るべきです。旗振り役の一人であった経済学者の中谷巖氏すら、「グローバル資本主義は間違っていた」と懺悔の書を著しています。グローバル資本主義が破綻した今こそ、政治家も経済界も行政システムも、多くの方が幸せに生きていける社会を目指すべきではないでしょうか。

6月までに、製造業を中心に非正規社員約19万2000人が、住居も貯金もないまま放り出されます。ホームレスが急激に増加するでしょう。早急な対策が必要です。

「路上生活者の凍死防止」活動にご協力戴き、厚くお礼申し上げます。寝袋配布は冬季だけですが、寝袋とカンパは1年を通じて集めております。ご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

草々

2009年3月31日 『ろくな者じゃの会』代表世話人 北出裕士
〒543-0024 大阪市天王寺区舟橋町11番16号 (株)GU企画内
tel 06-6768-0454 fax 06-6768-4464
E-mail rokunamonja@ymail.plala.or.jp
郵便振替口座 00970-4-267158 / 口座名 『ろくな者じゃの会』